

清田 満作



施政方針を問う

質問

施策・事業推進については、選択と集中による年次計画を示し、市民に理解と協力を求める時期にあるが、どのように状況整備をするのか。

また、市民の声をどのように捉えるのか。

答弁 市長

座談会を通じて、行政改革への叱咤激励と、課題への不安が強いと感じました。

住民との協働のまちづくりが必要とのことから、総合計画、実施計画策定の中で意見を具体化していきます。

また、事業の業績評価システム導入を検討します。

行政は行動を起こせ！

質問

身近な事象、事業こそ、周辺地域への配慮が必要である。

合併により周辺地域が、大きな課題に直面している。その対応は。

また、各生産組織・組合は、生産者の立場での効率性、利便性を生かすべきである。

さらに、地域振興策として、一体・総合的な産業の組み立てこそが必要と考えるが。

答弁 産業経済部長

行政として適切なアドバイスを行います。

組織のあり方は、関係機関と協議し、市の営農指導体制確立に努めます。

事業の推進は、行政として成すべきことは成し、言うべきことは言い、取り組んでいきたいと考えています。



衛藤 正宏



生活排水への

取り組み

答弁 市長

新市におきましては、現状より環境汚染が悪化することのないよう環境保全条例を制定すべく検討していきます。

質問

本市の環境条例を整備し、環境保全と施策を計画的に推進する必要があると思うが。

段階的に合併浄化槽の推進を図り、市内の環境保全に努めます。



注目されている風力発電

新エネルギーについて

質問

地球温暖化対策として、クリーンな新エネルギーの開発や導入が全国各地で図られています。

本市の考えは。

答弁 企画部長

新エネルギー財団からの市への助成制度が廃止されたため、市独自の助成は考えていません。

環境問題については、市報や講演会などでの啓発活動に努めます。



椎茸の駒打ち作業